

プレスリリース

平成24年7月27日  
(独)農林漁業信用基金林業部門

## 林材業の業況動向調査(平成24年度上期)の結果について

農林漁業信用基金では、全国の林材業の短期的動向を把握し、林業信用保証制度の適切な運営に資することを目的として、昭和51年10月以降、上期(4月～9月)及び下期(10月～翌年3月)の状況を、継続的に調査実施しています。

今回は、平成24年度上期分として今年度6月に調査したものであり、東日本大震災後、3回目の林材業の業況動向についての実態を把握したものと なっています。

また、本調査では特別調査として、原子力発電所の稼働停止等により予想される今夏の電力不足について、林業・木材産業者が、その影響をどのように捉えどのような対応策を講じようとしているのか併せて調査を実施しましたので、別添のとおりお知らせします。

お問い合わせ先  
林業管理室：山田  
長島  
TEL:03-3294-5581

# 林材業の業況動向調査結果の概要 (平成24年度上期)

平成24年7月  
独立行政法人農林漁業信用基金

## (調査概要)

- 農林漁業信用基金が、業務参考資料として、年2回程度実施
- 今回は、平成24年6月時点での上期(24年4月～24年9月)の現況・見通し、23年度下期(23年10月～24年3月)の実績を調査。有効回答回収率は45.4%(有効回答企業229社。)
- 農林漁業信用基金HP(<http://www.affcf.com/>)に詳細情報を掲載

## (凡例)

- ・ DI : 動向指数(Diffusion Index)。プラス要因指数からマイナス要因指数を控除し算出
- ・ △●P : マイナス●ポイント
- ・ 前回(調査) : 平成23年11月に実施した本調査(平成23年度下期調査)

## 1 売上

売上(見通しDI(増加-減少))は△18P (前回より2P上昇。東日本、特に、東北、関東、北陸等で改善幅が著しい。)

## 2 資金繰り等

- (1) 資金繰り(見通しDI(好転-悪化))は△25P (前回より4P上昇。)
- (2) 借入金調達難易度(見通しDI(容易-困難))は△16P (前回と変動なし。)
- (3) 借入金残高(見通しDI(増加-減少))は△11P (前回より1P下降。)
- (4) 短期借入金の金利(見通しDI(上昇-低下))は0P (前回より4P上昇。平均金利の実績は2.66%(前回より0.10%上昇。))
- (5) 売上代金の回収状況及び仕入代金の決済状況では、
  - ① 売上代金の回収は、「全額現金」が減少し、それ以外は横這いないしは微増
  - ② 受取手形サイトは、「4ヵ月以上5ヵ月未満」が減少した以外は、横這いないしは増加
  - ③ 仕入代金の決済は、「手形50%以下」が増加した以外は減少
  - ④ 支払手形のサイトは、「4ヵ月以上5ヵ月未満」及び「5ヵ月以上6ヵ月未満」が減少した以外は増加

## 3 設備投資の意向

- (1) 設備投資(見通しDI(実施-不実施))は△36P (前回より3P上昇したが、投資意欲は依然低調。23年度下期に設備投資を実施した企業の割合は△52P。見通しDIより13P下降。)
- (2) 設備投資予定の目的(上位3項目)は、「老朽化に伴う設備の更新」(51%)、「コスト低減等の合理化」(23%)、「乾燥材の生産」(8%)

## 4 在庫量の見通し

- (1) 原木在庫量(見通しDI(過大-過小))は△4P (前回より18P上昇。)
- (2) 製品在庫量(見通しDI(過大-過小))は16P (前回より13P上昇。)

## 5 純利益

純利益(見通しDI(増加-減少))は△37P (前回より6P下降。地域別では、前回調査に比べ、各地域の見通しDIは「関東」、「北陸」、「東海」で上回ったものの、全国的には下回り、再び下降傾向となった。)

## 6 木材価格の見通し

- (1) 原木価格(見通しDI(上昇-下落))は△29P (前回より53P下降。)
- (2) 製品価格(見通しDI(上昇-下落))は△44P (前回より30P下降。)

## 7 その他

- (1) 今後の経営(見通しDI(楽-苦しい))は△34P (前回より3P下降。)
- (2) 経営上の問題点(上位3項目)は、「売上不振」(28%)、「販売価格の下落」(27%)、「資金調達」(13%)

以上